

広報 やまこし

1979 6月 第132号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行



角突き臨時バスが運行

牛の角突き開催日(山古志会場、虫亀会場のみ)に、次のとおり越後交通より臨時バスが運行されます。

山古志会場(池谷)
 (往)長岡駅東口十二時発—蓬平—虫亀—桂谷—池谷
 (復)池谷発—角突き終了後—桂谷—虫亀—蓬平—長岡

虫亀会場
 (往)長岡駅東口発十二時—蓬平—虫亀—桂谷—虫亀
 (復)虫亀発—角突き終了後—桂谷—虫亀—蓬平—長岡

○料金は定期バスと同じ
 ○往路については、桂谷で小千谷行き一時〇五分のバスと連絡
 ○定期バスと同じく各停留所に停車、虫亀からフリーバス運行

6月1日 商業統計調査

調査員がお伺いしますので、よろしくご協力ください。
 (総務課)

歯科診療車巡回のお知らせ

県歯科診療車が下記のとおり巡回無料診療しますので、希望者はおいでください。

診療の内容
 ○児童生徒の検診、診療
 ○一般住民の検診、抜歯および予防処置など

期 日	時 間	会 場
6月18日(月)	10時~15時	虫亀小学校
19日(火)	〃	山古志中学校
20日(水)	〃	竹沢小学校
21日(木)	〃	種芋原農協前
22日(金)	10時~12時	〃

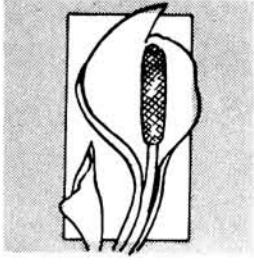
停電のお知らせ

期日 6月14日(木)
 時間 9時~14時
 区域 梶金、木籠、小松倉

昭和五十四年度の新潟県保母試験が次のとおり実施されます。
 試験期日・会場
 【筆記】七月二十六日~二十七日 長岡大手高校、ほか二会場
 【実習・実施】九月二日 新潟中央高校(新潟市)

新潟県保母試験の実施

受付期間 六月二十日~三十日
 保母試験受験準備講習会 前記の保母試験のための受験準備講習会を開催しますので、希望者は六月十一日までに申込んでください。
 【期日および会場】
 六月二十五日~三十日 新潟県中小企業会館(新潟市)
 ※詳しいことは、住民課福祉係にお問合せください。

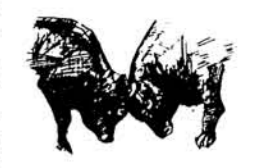


お知らせ

「牛の角突き」

テレビで放送

さる五月十三日の虫亀会場の牛の角突きを中心にテレビ撮影が行われましたが、このテレビ放送が次のとおり行われます。
 NHK総合テレビ
 甲信越ところどころ
 「越後山古志」
 角突きところ



6月5日 ~ 11日

環境週間

ゴミ公害から自然を守る

昭和五十四年度新規学卒求人等の説明会
 会場 長岡商工会議所 五階大ホール
 内容 新規学卒求人申込方法について、各種援護制度について、質疑その他
 (長岡公共職業安定所)
 日時 六月十八日(月) 午後一時三十分より

六月に入ると、農作業も一段落し、ママさんバレー、朝野球リーグ戦、青年球技大会などスポーツ行事が活発に行なわれます。さてこの六月、今年は梅雨入りが例年より早くやってきました。くもり空からシトシト降る雨—気分までがしめりがちです。この時期は体調がくずれやすくなり、とくに食中毒にはご用心を。

また、梅雨という、昨年の六・二六梅雨前線豪雨が思い出されてきます。現在、この復旧工事も順調に進められています。集中豪雨がいつ起きるかわかりませんが、十分注意してください。

減りつづける小・中学生

＝ 学校基本調査から ＝



10年前より412人・43.4%の減少

文部省の指定統計調査として、毎年五月一日現在で「学校基本調査」が行われ、その概要がまとまりました。その結果、村内の小・中学校の児童生徒数は年々減少を続け、学校の小規模化、複式学級の増加などいろいろな問題を投げかけています。最近の多様化してゆく社会情勢のなかで、教育問題はますます重要性を増すばかり。教育論争も後をたちません。いま、村の学校教育を考えると、これらの問題にいかに対処してゆかか大きな課題です。そこで、今回の調査結果、さらに将来の予測も合わせて考えてみましょう。

調査の結果は表のとおり、小学生は三百四十二人で昨年より二十五人減少、中学生では百九十五人で十二人の減少となっています。これを五年前、十年前と比べてみますと、五年前より百六十三人、二十二年・二%の減少、十年前より四百十二人、四三・四%も少なくまりました。同じ期間の人口の減少率がそれぞれ一四・四%、二四・三%ですから、児童生徒数は人口の一・八倍のペースで減っていったこととなります。つまり、老齢人口の増加とともに、子供の人口の構成比率が急に下がってきたのです。

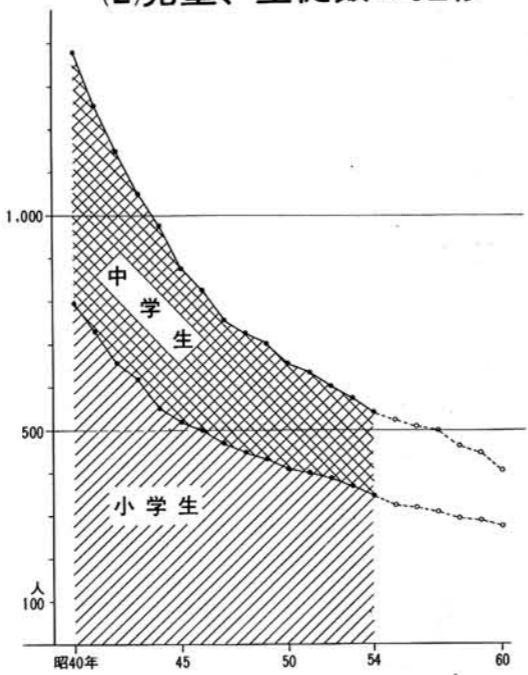
児童生徒の減少で各学校とも小規模化してきました。小学校では一番大きな竹沢小学校でも九十五人と十年前に比べ二十九人減少し、一学級あたり十五・八人となっています。小学校五校を合わせると一校あたり児童数は六八・四人、これを六学年で割ると一一・四人にしかありません。このように児童数が少ないため三校で五つの学級が複式学級となり、昨年より一学級増えていきます。虫亀小学校で三年生と四年生、池

三校で複式学級

え、また若者の都会への転出、嫁不足などが、やはり大きく影響しています。谷小学校で一年生と二年生および三年生と四年生、二年前に統合したばかりの東竹沢小学校でも二年生と三年生、四年生と五年生がそれぞれいっしょに勉強しています。中学校では、種芋原中学校が五十四人で三学級、山古志中学校が百四十一人で五学級。山古志中学校では一年生、三年生がそれぞれ二学級となっています。一学級あたりの生徒数は二十四・四人となります。

これら児童生徒を教える先生の数は、小学校で三十七人、中学校で二十人。先生一人あたりの児童生徒数は、それぞれ九・二人、九・八人となっています。

(2)児童、生徒数の推移



さて、昭和60年は…

さて、昭和六十年度の児童生徒数がどのくらいになるか予測してみよう。グラフのようにやはり減り続けて、昭和六十年には小学校児童数二百七十四人、中学校生徒数百三十四人、合わせて四百八人という結果となりました。今年より百二十九人の減少です。

ました。

へき地小規模校について

山古志村の教育は、県の指定する「へき地教育推進モデル地区」として、現在十項目の実践がなされています。その主なものとして、
(一)わかる授業の実践
(二)山古志の教育を語る会の開催

山古志村の教育



へき地教育推進モデル地区専門研究員
山古志中学校教諭
高橋 健吉

教育は村づくりの基

学校がよくなければ、若い人は自分の子供たちをだしたくなくなり、それが過疎にも影響します。子供たちは未来の山古志を背負って立つのです。教師と村民が一体となって「山古志の教育」を考え、たち向いたいものです。

(三)山古志村郷土資料集の作成
(四)芸術鑑賞教室(長岡市立劇場)などがあります。

これらの成果は着々と上がり、昭和五十二年には、全国へき地教育連盟より最優秀教育賞を受け

長岡より三十分の山古志は、へき地などではないのです。ただ、住んでいる人の心の中に、へき地だ、という考えがあれば……その方が問題でしょう。また、子供たちの数が少ないと



藤 高さ約60センチ



関福治郎さん (油夫)

卒業者の進路

高校進学率82.2%

今年三月中学校の卒業者は男子三十四人、女子三十九人計七十三人でした。卒業後の状況を見ると全日制高校への進学四十人、定時制高校への進学二十人、職業訓練校などへ七人、就職六人となっています。高校進学率は全日制、定時制合わせて八二・二%となりました。

また就職した人は就職進学者等も含めて二十七人。このうち県内就職は五人、県外就職は二十二人です。村内の就職は一人もなく、県内就職者も全員転出して村を離れた。

第5話

錦鯉の大衆化で
山古志の名を高めよう

餌付けをする

私は全国的な規模で錦鯉を飼うようにしよう、という野心を持っております。そのためには、

「丈夫で、美しく、育てやすい鯉をたくさんつくること」が一番大事なことなのだ、と考えています。一匹いくら、という当モノでなく、皆にひろめることが一番なのです。

山口県川上村に長門峡という大変に景色のよい所があります。その入口の瀧宮口にある茶店が、川の鯉を餌付けしたのです。

といっても、客の食べ残しを投げてやるだけでしたが、大水が出て下に流されても何日かすると、元に戻ってくるようになり——赤い鯉は目立つので——人が集まり始めました。大きいので一尋ほどのが何匹かおったのですが、ある

夜、客が釣って行ってしまったので、どうしたものだろうと、川上村の村長は考えていたのですが、長門峡の少し先に鉢泉がたので、そこに温泉宿をたてました。

今までは、車でスーッときて、サッと帰っていく。ゴミを散らかしても平ちゃらでした。ところが、宿ができ、長時間いるようになる。すると、若い人も親子づれも、マナーを守る良い客がきて、悪い客は見咎められるようになりました。

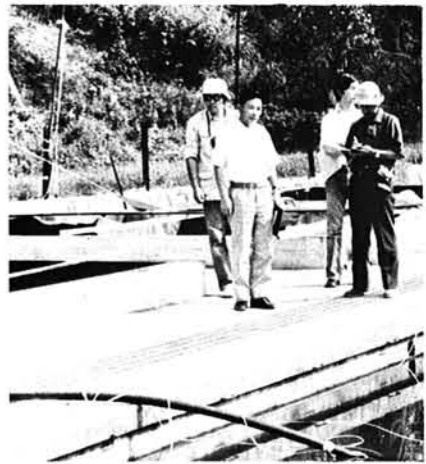
さて、それを見てとったのが、津和野なのです。津和野は小藩ですが、笹ヶ谷銅山が鎌倉期から続いておりました。が、今は、経営者の堀家が没落し、何の変哲もない町となってしまいました。津和野という所は、本当に何も

鯉がいるから人がくる

ない町で、わずかに森鷗外の旧宅があり、そこを訪れる人が少しあるだけだから、もう少し見る所を作ろうではないか——それには、あそこきれいな川が流れている。そこに錦鯉や鮎を放そう。餌付けしようではないか、と私は提唱したのでした。

餌付けは簡単で、橋のたもとで餌を売ります。水は澄んでいるから目立つ、餌も売れる。魚も定着する、という寸法です。そして、これが見事に成功しました。その次には、武家屋敷の外に巡らしてある小さな堀に花菖蒲を入れました。すると、画材になるので、絵かきがくる、写真家もくる、作家がくる、つられて観光客もくる、といった具合になりました。人が増えてくる度に、青野山の国有林を払い下げてもらい植林をしたり、西洋哲学を最後に学んだ

車エビというのがあります。日本人はエビ好きで、年に一千億ほど輸入しています。水産国という日本がこんなみつももない話はない。それで、水産庁の調査研究部長の藤中先生が苦勞されて「車エビの大量フ化」に成功されたのです。そして、その小指の先一寸くらいのを、



錦鯉センターで説明をうける宮本先生

ところが（山古志）を知っている人はほんのわずかです。そのことで、皆さん方はぜひ分くやしい思いをしていられるでしょう。が、その原因は皆さん方の経営にもあるのです。値の高い鯉を育てあげ、思いもよらぬ大金を手にする、とい

うのは、いわば「闇から闇へ」ですね。これでは、知られるはずないでしょう。どうですか。それよりも、何千、何万という鯉を育てあげ、一人でも多く買ってもらおうという数でこなす方法が大事なのではないかと思うのです。組織的に数でこなすのです。

つまり、山古志を名実ともに錦鯉の中心産地とするのです。

今度、錦鯉センターができました。ああいう設備ができますと、ずっと鯉の成長を見つづけていく、飼育を研究するといった、皆が眼で見えるような場がもてるようになります。鯉についての生態がよく解り、思わぬ発見もあるはずで、新しい品種の開発もされるでしょう。そして、大量フ化をし、大量販売へもっていくのです。

大量化は発見につながる

その元になっているのが錦鯉だったのです。長門峡も津和野も、西の方の錦鯉は鳥取県の大山で買ったものです。その大山は山古志から入れたんでしょ。山古志が原産地なのですからね。

を越える車エビ養殖センターができ、平均億円、全体で三百億の線をこえ、一千億も時間の問題になってきております。「黄金の鯉」だって、そうです。山古志で作られたものですね。ところが、ひろめたのは私の郷里の星出武平さんでしょ。五つもの事業所をもち、十何億の水あげをしています。あれ程にあの鯉が名声

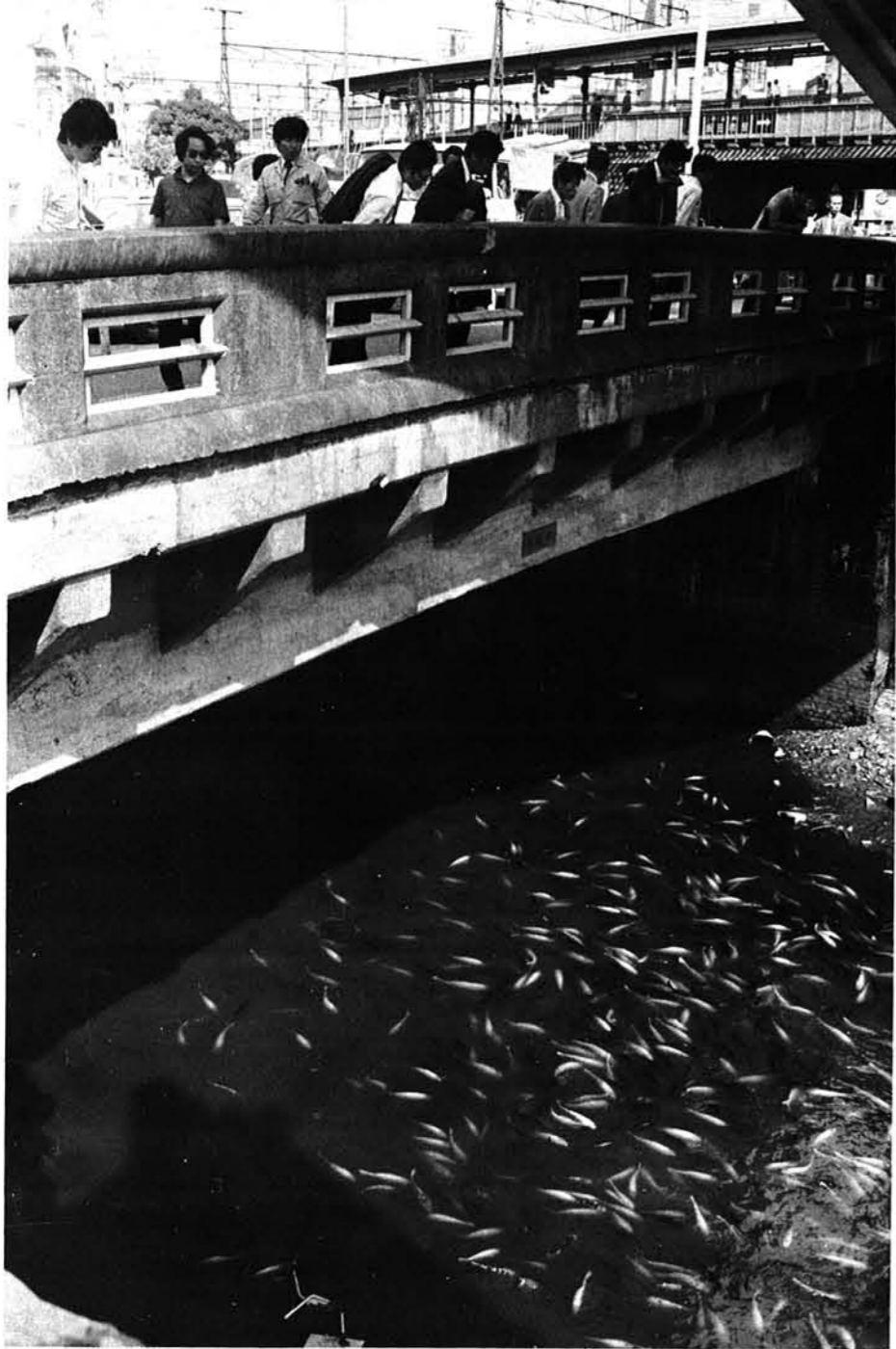
を得たのは、武平さんが水のきれいな所にとんどん放したからなのです。それで皆、関心をもち、欲しくなったのです。何百万の鯉だ、とやったのではないのです。

大規模な生産をし、不用の鯉は無料で配るくらいの度量をもつと、本当の錦鯉の中心地として、皆の心の中に生きてくると思っています。そのためには、今の経営を改め、皆で命がけで働き、学ぶことが大切ですね。

〇構成者註・伝産法（伝統的工芸品産業に関する法律）の指定を受けると、国・県の補助、指導、「伝統マーク」が貼ることができ、イメージアップされる利点があるほか、後継者育成、共同で購入、販売、宣伝などの事業ができ、産地発展に結びつく。そのため、売りやすい錦鯉になる。

が、伝産法の指定条件として、「業界の一本化」が大前提である。一本化できずにホゾをかんでいる産地は少なくない。結束力の見せどころである。

構成 青柳正一



汚ごしてしまった川でも、生きものを入れると関心があつまる。——東京・飯田濠。江戸城の外濠と神田川の出合う重要地。長い間、ゴミ捨て場、ドブ川としか扱われてこなかったが、大出水をくい止める機能が再認識され、先人たちの残した自然・風景の文化遺産として濠を復活させようという運動がおこっている。最初に、この濠に鯉を放したのは誰なのだろう。 撮影 青柳正一

坂牧源太郎さん、勲六等瑞宝章に



を受けられました。
坂牧さんは、昭和十四年から十六年余、旧村当時の種芋原村議会議員として活躍。とくに戦中戦後の山間地域にあって、産業振興、教育、道路建設などに努力され、地方自治の発展に尽くされた功績は大きく、住民から厚い信頼と信望を寄せられていたものです。

教育委員 小川秀松さん、表彰される



委員連合会より表彰されました。小川さんは、昭和四十二年より村の教育委員として十一年余、学校建築や教育問題の多様化するなかで尽くされたその功績は大きく、現在も教育委員長として活躍されています。

畔上 勝さん(楳木)、青年農業士に認定



この青年農業士は、将来も農業で自立し、地域農業発展の中核者となる若者を県が認定するもので、さる三月二十日、五十三年度分の六十六人が認定されました。畔上さんは肥育牛の分野で、優れた知識・技術、経営能力を持ち、地域の模範となっていることが認められたものです。

献血にご協力 ありがとうございました

さる五月一日「ゆうあい号」が来村し献血が行われました。今回もたくさんの方々のご協力をいただきありがとうございます。協力してくださった方は次のとおりです。

- 種芋原
今井 義夫 小川 庄一
草間 頼雄 樺沢 昭司
米岡 祐二 小川 藤雄

結婚相談員に

長島チイさん

結婚相談所も開設されて一年あまり経過し、六人の相談員の方が



渡辺 孝寿 山口 孝平
小川 茂 川上 卓夫

星野 博 星野 典
青木 トセ 青木 春光
小池 正夫 高野 一衛

齋藤 春子 佐藤 丈平
若槻 敬 峰村 功
酒井 省吾 酒井 一郎

星野 等 青木 ハツ
高野 トク 星野 武正
星野 京子 小川 加久

長島 トシ 松田 松夫
藤井 勲 青木 京子
長島シズ子 畔上 多作

星野 キユ 関 稔
高野 祐治 星野 信子
高橋 武俊 星野 吟二

竹沢 小川 ミキ 関 悌二
星野 謙弥 星野 信一
小池 清 星野 清吉

東竹沢 五十嵐常雄 関 勝
小川喜太郎 上田 清作
川上 孝三 小川 清一

高野 信義 高野美和子
星野 竹寿 星野 友門
高野新之丞 岡本 イツ

川上 忠一(再任) 大久保
星野仲次郎(シ) 二丁野
高野 照正(シ) 小松倉

新しい文化財保護委員

任期満了により、新しい文化財保護委員が次のとおり決まりました。
長島寅三郎(新任) 虫 亀
金内 栄吉(再任) 種芋原

社会体育指導員

四月一日付で、社会体育指導員が次の二人に決まりました。
上杉 和博(種芋原中教諭)
村上 学(山古志中教諭)

八犬伝

八犬伝とその作者

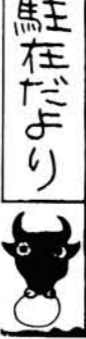
修 野 軍 彦

(113)

八犬伝は、北国中無比の無比名物、宇内の一大奇観なり。とある。ここで作者馬琴は次の註を加えている。
この牛の角突の事は、次団太が物がたりの段よりここに至りて皆真説なり。伝聞の来由は左に詳なり。
と記している。「宇内の一大奇観なり」から以後からは全く馬琴の創作である事を示しているようである。そして註の「左に詳なり」は、やまこし誌の最終から補足しながら紹介する。誌の最終は「角を楚と捕留たり」であるがそのあとに、
畢竟小文吾が、暴牛を推註、めて、後の話説いかにぞや。そは第八輯に、解分るを聴ねかし。

と記され、そして、左につまびらかに、と内容を記している。それは次の通り。
曲亭主人(馬琴自身)曰く、
道個(この)の關牛の光景は、越後魚沼郡塩沢の里長鈴木牧之が、庚辰の春三月二十五日彼地に到りて、目撃したる図説に由れり。そ

この本は、四月下旬に公民館、区長を通し皆さんに配布してあるものです。
古くから受け継がれた山古志の四季それぞれの味を後世に残し、また、日常の献立に広く活用していただきたい、と編集しました。それと同時に、これが、お母さん方の心のこもった「おふくろの味」となり、明るく幸せな家庭づくりの一助になればと願っています。(教育委員会)



長岡警察署
竹沢・種芋原・蓬平駐在所
梅雨ときの災害事故防止
〇気をつけよう、
天気予報と今日の雨

〇たしかめよう、
地すべり場所と通学路
〇向う三軒両隣り
きめておこう避難場所
梅雨ときの交通事故防止
〇安全へ注意十分、スピード八分
〇安全と資源を守る経済速度

経済速度は四〇キロ
〇まがりかど、
徐行確認忘れずに
山古志村で今年すでに、四件のまがりかど事故発生。
〇子供の水の事故防止
〇幼い子、ひとりにするな
水のそば
水が恋しくなる季節。でも、この六月〜八月にかけて、子供の水の事故が多発し、子供の水の犠牲者は交通事故の一・八倍にもなっています。
子供は水のこわさをよく知りません。十分注意を。



八犬伝とその作者 修野軍彦 (113)